

日南町中心地域整備検討委員会（第2回）会議録

日 時 令和6年7月13日（土）

午後1時30分から午後3時22分

場 所 日南町役場 交流ホール

出席者 別紙のとおり

次第1 開会

○事務局

第2回日南町中心地域整備検討委員会、開会宣言。

次第2 開会挨拶

○日置委員長

第2回となる今回は、病院建設候補地の選定や地域でのワークショップを踏まえてのコンパクトヴィレッジ構想についての検討など、前回よりさらに踏み込んだ内容について、皆さんに検討いただくことになる。中身の濃い実りある検討会にしていだきたいと思うので、よろしくお願い申し上げる。

次第3 第1回検討会振り返り

○事務局

前回（第1回）議事録を用いて、主な議事内容や整理事項を説明。

次第4 日南町中心地域整備検討委員会設置要綱の変更

○事務局

設置要綱の変更（一部改正）について提案。第Ⅰ回検討委員会以降、内部協議の結果により本検討委員会を日南町中心地域整備計画策定のための諮問機関とさせていただきたいもの。

諮問機関として、有識者・町民代表・専門分野の皆様で構成される本検討委員会に町長から諮問し、検討結果を集約・答申をいただき、その答申を最大限尊重しつつ日南町中心地域整備計画を策定したいと考えるもの。これに伴い、資料２に基づき要綱の一部、または委員の変更をお願いしたい。

○日置委員長

諮問というのは町政の重要事項について、町長がその機関に相談し、その機関は検討した結果を町長に答えとして答申するもの。町長はその答申を尊重しつつ、その後の町政運営を図るということになる。つまり、これまでの検討委員会から諮問機関になるということ。これに関連して、町長は本検討委員会の副委員長にあたるが、検討委員会委員から抜けるということになる。委員の皆さんからご質問等あるか。

○委員各位

特に質問や意見無し。

○日置委員長

それでは本件は、全会一致で承認されたものとする。

次第5 委員委嘱

○日置委員長

続いて、委員の変更・委嘱等について事務局から説明を。

○事務局

日南町自治協議会の役員交代等に伴い、新たに委員になられる方をご紹介させていただく。地域団体代表として、日南町自治協議会会長の交代により松田委員。福祉分野から日南福祉会理事長の坪倉委員。そして、町執行部からは町長が副町長に交代し、新たな委員メンバーとしてご承認いただきたい。

○日置委員長

委員の皆さんから、ご質問等あるか。

○委員各位

特に質問や意見無し。

○日置委員長

それでは本件についても、承認されたものとする。

次第6 諮問

○事務局

中村町長から検討委員会日置委員長に対し、諮問させていただく。

○中村町長

資料3「第601995号日南町中心地域整備計画の策定に係る方針について（諮問）」により、日置委員長に諮問。

○日置委員長

中村町長からの正式な諮問に対し、本委員会として慎重に検討し、期限内に答申を取りまとめるよう努めたい。委員の皆様のご協力をお願い申し上げる。

次第7 議事

○日置委員長

議事（1）の副委員長の選任について、事務局から説明を。

○事務局

第1回検討委員会で町長を副委員長と決定いただいた経過から、このたび町長に交代して委員となった角井副町長を本検討委員会の副委員長として提案させていただく。

○日置委員長

委員の皆さん、事務局提案に異議等あるか。

○委員各位

異議なし。

○日置委員長

角井副町長を本検討委員会の副委員長とすることを承認する。加えて、本日の検討委員会の会議録署名委員は、松田委員にお願いしたい。

○松田委員

了承。

○日置委員長

次に、議事（２）新日南病院建設候補地選定について、これについては部会を設けて事前に議論の場が設けられた経過があり、片野部会長から報告をお願いする。

○片野委員（候補地選定部会長）

病院の建設候補地選定に関する報告をさせていただく。去る 6/15 に選定部会を開催し、本日参考としてお手元に配布した資料の全部が部会当日の資料である。部会では、全部で 8ヶ所の候補地から 2ヶ所に絞り込むプロセスにおいて、積極的にここが良いという選び方はしていないことが前提。例えば崖などの崩落の危険性や民有地であることからの財政負担などのネガティブチェックによる、いわゆる減点方式を採用した絞り込みの結果である。そのネガティブチェックの基準については、資料にある 6つの新日南病院建設候補地選定基準により候補地 7ヶ所を一通り採点していくという手法をとった。

その 6つの選定基準の 1つ目は、防災災害リスクの視点。災害に強いということ。洪水の危険性や土砂災害の危険性、そういったリスクがないかどうか。2つ目の基準は、公共交通の利便性の視点。住民の皆さんが、安心して使えるような交通の利便性があるかどうか。そして 3つ目は、まちの関連施設や機能との連携の視点、スーパーが近いかとか役場が近いかとか、図書館が近いかとか、効率的に物事が行えるかという視点。それから 4つ目は、希少動植物や埋蔵文化財の保護の視点、そして 5つ目としては、病院の療養者や患者さんの環境の視点、騒音など健康回復に適さない周囲環境などもそれなりに重要。そして最後の 6つ目は、町財政の観点。町政運営に大きな財政負担が伴うかどうかということ。

因みに、議論になりそうな観点であるが、どんな病院をつくるか、大きな病院なのか中位の病院なのか診療所なのか、病院の機能や病床数はどうなのかということは現状不明な訳で、今回の選定では全く結果に含まれていない。どんな病院を造ってもここは危険であるとか、ここはまずいという部分について採点しており、病院の機能や病床数等については引き続き今後の議論になると認識している。採点の点数については3種類、「課題が無い＝5点」「課題が少ない＝3点」「課題が大きい＝0点」として、無記名による採点を行った。

採点を集約した結果、1位に選ばれたのは「候補地3の文化センター駐車場」で2位に選ばれたのが「候補地2の道の駅の裏手」であった。

また「候補地7の生山駅ロータリ」が3位として選ばれ、この3位の生山駅ロータリを部会として候補地に残すかどうかの議論を行ったが、駐車スペースの観点やJR生山駅としてのそもそもの機能、利用者の安全性の確保などの観点から、最終的に3位の生山駅ロータリは部会の候補地としては外すという結論に至った。ここまでの私の発言に対して相違等がないか又は補足等があれば、本日参加していらっしゃる候補地選定部会のメンバーの皆さんに一言ずつコメントいただきたい。

○委員

部会長の報告に相違ない。公共交通の利便性やまちの施設との連携についてかなり議論・検討したと認識している。

○委員

部会長の報告に相違ない。1位となった候補地3の文化センター駐車場については、面積的に若干少ないという意見もあったが、やはり利便性の観点から選ばれたと認識している。

○委員

部会長の報告に相違ない。利便性の観点から、そして防災の観点についても議論がなされたと認識している。加えて、民有地については買収にあたって色々課題がでてくるのではという議論もあった。

○委員

皆さんがおっしゃるとおり、委員長報告に相違ない。

○委員

多くの利用者は病院受診とショッピングがセットではないかという想定から、公共交通の利便性

と関連施設の観点から議論がなされたと認識。委員長の報告に相違ない。

○片野委員（候補地選定部会長）

部会委員それぞれのコメントから、6つの基準を基本として民主的に採点・選定されたのではないかと改めて認識している。事務局から補足やより詳しい説明があればお願いしたい。

○事務局

片野部会長からの報告通り、選定部会が開催され議論された。候補地7の生山駅ロータリについては、駅そのものの機能保持、利用者の安全性や利便性の確保、まとまった駐車場確保が困難等の理由により、候補地としては選定しないという判断であった。

また、町議会からは、現状の生山駅周辺の空き地活用など、工夫によっては駐車場の確保も可能ではないかというご意見があったことを共有させていただく。加えて候補地3の文化センター駐車場については、駐車場確保にかかる経費が試算されていないというご意見をいただいた。そして、全体経費や財政負担、こういったものをしっかり示した上で選定すべきというご意見をいただいている。これらについては、次回10月に開催予定の第3回検討委員会でお示ししたいと考えている。議会のご意見も踏まえて今後の議論の参考にしていただければと思う。

続いて、候補地3の文化センター駐車場の確保について、確保するための案とメリット・デメリットや必要経費について説明させていただく。民地活用など含まれるが、現時点ではあくまでも可能性というところでご認識いただきたい。

考えられる選択肢のまず案1、役場周辺の町有地駐車場、役場・文化センターを利用する場合。候補地3は現在、役場やJA職員の皆様が駐車場として利用しているため、候補地3に新日南病院を建設する場合、駐車場の確保が課題となる。候補地3と近隣の町の駐車場および民有地を活用した場合、現状191台分の駐車場がある。このうち、役場職員、JA職員の141名が駐車場を利用している。これに加え、日南病院職員と患者様の利用、165名と文化センターの利用者の皆様、40名を合わせると155台が不足する計算となる。

続いて案2、文化センター前駐車場を立体駐車場として整備する場合。仮に3階建て150台分の立体駐車場を整備する場合、必要台数全体としては、50台不足することとなる。また、インシャルコストが約3億円程度かかり、維持管理経費も継続的に発生する。

続いて案3、候補地3の場所にピロティタイプの病院を建設し、1階部分を駐車場として利用す

る場合。敷地内に患者様用の駐車場 90 台分を確保できるが、病院職員用など必要台数全体としては 65 台分が不足する。また、ピロティ建設に伴い、病院建設費が約 9 億円増額となる見込み。

続いて案 4、候補地 3 近辺の民間所有地を再開発し活用する場合。この場合、既存の駐車場利用者に加え、病院関係者分の駐車場を全て確保することができるが、用地買収交渉が必要となる。また、用地買収補償費など新たな経費がかかることとなる。現時点において、経費試算は行っていない。

続いて案 5、周辺の町有地である日南小中学校周辺の駐車場等を活用する場合。この場合、約 224 台の確保が可能である。しかし、小中学生の通学時の安全確保の課題に加え、駐車場が分散し、まとまったスペースの確保はできない。

最後に案 6、周辺の民有地を買収し、駐車場として活用する場合。先の候補地選定部会では候補地としては選定されなかった候補地 5 の郵便局上手側を駐車場として整備する場合、必要な台数は確保できるが、土地の買収費に加え造成費に約 1 億 7 千万円が必要となる。

以上、候補地 3 の駐車場確保対策案として 6 つを示させていただいたが、今後の候補地選定の参考にさせていただければと思う。

○片野委員（候補地選定部会長）

それでは、部会及び事務局の報告について少し議論した方が良いと思うが、部会のメンバーでは無い皆さんから質問やコメントなどいただければと思うがいかがか。

○委員

病院の駐車場が病院から離れてて大丈夫なのかとは感じる。離れてるという程の距離になるのかどうかも含めて分からないが、候補地の選定に当たってロケーションや配置、費用等も含めて現状では資料が少ないので何とも言えない気はする。

○片野委員（候補地選定部会長）

患者さんの駐車場を最優先に近くに配置して、役場職員は遠くにという様な話もあった。

○事務局

患者様や地域住民の皆様の駐車場は近くに確保しなければならないと考えている。現在、候補地 3 は役場職員の駐車場となっており、多少離れたところで確保していくことも考えながら住民の皆様の利便性は犠牲にしないようにしていく必要があると認識している。

○委員

そうすると民間の建物の移転の議論や費用等の交渉も必要になってくると感じている。

○片野委員（候補地選定部会長）

その他のご意見あるか。

○委員

利便性の観点等からすると、候補地3と候補地2が選定されたことは理解できる。利便性が高いということは、住民や利用者の出入りが激しくなることも考えられる。その際に気になるのが緊急車両のスムーズな出入り。救急車が入ってくることやイベント等を開催する際の動線や駐車場等、何かと問題が出てくるかもしれないので、そういった観点でも検討が必要と考える。

○片野委員（候補地選定部会長）

そういったことも考えていく必要があると思う。その他、ご意見あるか。

○委員

小・中学校で運動会やイベントがある際、小・中学校の駐車場では足らず、この候補地3の場所に駐車して歩いてきてください、というのが現状。だから、ここが使えなくなると更に遠い何処から歩いてくるかといわれたら、なかなか難しいかなと思う。例えば熱を出した子どもを抱っこして病院に行くことを考えると病院と駐車場の距離は大事だと思う。また、疲れて眠ってしまった子どもを抱っこしてイベントから帰ることなどを考えたときに、駐車場も遠く交通の便も悪いとなるとイベントに行くのは辞めようかなという気持ちになり易いかなと思う。

○片野委員（候補地選定部会長）

ごもっともな意見だと思う。コンパクトにする意味や意義を考えながら、駐車場の問題から人が参加しにくかったり、イベントが出来なかったり、利便性が削がれたり無いよう駐車場の事はしっかりと考えていく必要があると思う。その他のご意見あるか。

○委員

そもそも病院の規模感が分からないのでクエスチョンマークしか出てこない。駐車場の問題について委員の皆さんからのご意見は最もだと思うし、文化センターの利用者のことも考えなければならないと思う。だから候補地3の場所に病院を建てるとなると、そもそも小さな病院しか建てるのは無理なのじゃないかなと。ここに建ててどうするんだろうという風に思ってしまう。

○片野委員（候補地選定部会長）

つまり、病院の中身が分らないと決められないというご意見だと思う。6月15日に開催した候補地選定部会での議論は病院の中身が分らない中でのネガティブチェックであったとお伝えしたように、候補地の決定にかかる積極的な意義づけはこれからということになるので、今後議論を深めて行く必要があると認識している。その他ご意見あるか。無いようなので、日置委員長に議事進行をお返しする。

○日置委員長

本音ベースの議論だったように思う。今回、候補地選定部会で2ヶ所に絞り込んでいただいたので、今後はこの2ヶ所について議論を深めていくことになる。皆さんの中で色んな疑問が湧いてくるが、その原因は候補地が2ヶ所に絞られたというだけであって、その中身はまだ殆ど何も決まっていないということにある。ここからは全体の空間計画の中で何を配置してどのくらいの大きさなのか、それはどういう風に造り使っていくのか。そして交通の安全性や利便性、駐車場や歩行者と自動車の動線をどう分けるのかなど。病院の利用者、患者さんの利便性を高める配置など検討が必要であるとともに、学校行事や一般利用者の使いやすさも犠牲にしないように、もう少し突っ込んだ複雑な議論が必要になってくると思う。今後は事務局の方でもグラフィックを用いた仮想空間を創りあげていくような計画もあると聞いているし、具体的に善し悪しを言えるような意見を出しやすくするような形をとっていただけるものと認識している。次に、議事（3）の資料5「第2回日南町中心地域整備ワークショップの概要について」と関連のある議事（4）の資料6「コンセプト及びゾーニング」について、事務局から説明願う。

○事務局

資料5「第2回日南町中心地域整備ワークショップの概要について」、資料6「コンセプト及びゾーニング」について事務局から説明。

○日置委員長

委員の皆さんから、ご質問・ご意見あるか。

○委員

100名を超える住民の意見を取りまとめ、分かり易く資料作成していただいたと認識する一方で、大きな全体像のコンセプトとしては抽象度が上がってしまったという印象がある。このコンセプトを見て、役場や住民の方がこういう町を創って行こうというような、指針になるキーワードがどうなっていくのか、もう少し具体的な内容が分かると良いのではないかと思います。

○委員

現時点では、ワークショップで出た意見を全部盛り込んでいる状態だと思うが、現実的な必要性や優先順位などを検討しながら議論していく必要性を感じている。

○委員

地域でのワークショップには参加しなかったので分からないが、まち協ごとのワークショップで話はだいぶ違ったのではないかなと思う。そのあたりはどうか。

○事務局

確かにまち協ごとのワークショップの温度差や意見の多い・少ないはあったと認識しているが、最終的に集約した意見は同じような内容が多かったと認識している。

○委員

それぞれの地区のコンセプトが示されている訳だが、このコンセプトはワークショップで出た意見の集約なのか、それとも予めワークショップの前に事務局から示されたのかどちらか。

○事務局

前者のワークショップの意見集約に基づくものである。

○委員

それぞれのゾーニング、地区を繋ぐ公共交通や移動手段などはワークショップの中では議論の対象となったかどうか。

○事務局

中心地域エリアについては、巡回バスを走らせているが利便性が高いとは云えない現状において、そういった事についてもワークショップで意見として頂いた経過もあり、全体議論の中で今後の課題であると認識している。

○委員

生山地区については歩いて楽しめる空間というコンセプトは良いと感じる。そのためには飲食できる施設は重要。また、大田原地区について公園整備の充実というフレーズが出てくるが、魅力的な大型複合遊具などあれば、多少遠くても町外から家族連れが訪れる魅力ある場所になると感じる。

○委員

町内で全ての用事が済まないで、基本的に米子市に出て買い物をしたり、お昼ご飯を食べたり公園に行く現状。保護者同士で寄って話したり、コミュニケーションをとる場所が無いというのをずっと残念に感じてきた。町内でお金を使えたらもっと日南町が潤うのにとずっと思っており、すぐもったいない。少しずつでもワークショップでの希望が叶えられて行くのであれば、休日にわざわざガソリン代をかけて町外に出かけなくても良いのは嬉しい。

○日置委員長

皆さんが実際にどこでどういう風に時間を使っているのか或いは使いたいのか潜在的ニーズを丁寧に拾っていくことによって、実際にどこに何が優先的に必要なのか又は配置すべきなのかを決めてパズルにはめ込み、その結果ちゃんと使われるものが出来ていく形が理想である。そのための議論がもっと必要であると認識している。

○委員

4つのゾーンの説明は、それぞれの特徴などが何となくイメージを掴めて良かったと思う一方で、ワークショップはあくまでアイデア出しという段階でもあり、これらを全部やるというのは到底無理。出てきた意見を今後どう優先順位をつけて実行する・しないを決めていくのか。その辺りを事務局案としてはこれからどう進めて行く考えなのか伺いたい。

○事務局

ワークショップの内容は引き続き整理しながら世代毎や町民・町外者などの様々な視点から賑やかな中心地域に繋がっていくようイメージを創っていききたい。また、具体的な配置場所や金額などの精査も進めながら最終的に整理した結果は、今後の検討委員会の中でお示ししたいと考えている。

○委員

4つのゾーンはそれぞれでは無く、全体として1つの中心地域でありコンパクトヴィレッジ2.0という考えで進んで欲しい。全体を画で見るとき、アルファベットの「N」であったり、見ようによってはオオサンショウウオの形に見えたりもする。何かそういった味付けも是非考えながら、どうやったら面白い「ごちゃまぜ」の町が出来上がっていくのかということも工夫を凝らしていただければありがたいと思う。

○委員

検討のベースは、この町で町民がいかに持続的に暮らせるかという視点が一番大事だと思っている。日南町は星空が綺麗だなという印象もあり、それは都会には無い財産であるから、そういった

来訪者から見た視点もあると町の持続可能に繋がっていくのではないかなと思う。

○日置委員長

まとめに入りたいと思う。今後もワークショップを通じて意見を丁寧に拾いながら整理し、それを第3回の検討委員会で揉むという一貫した進め方になると思う。矛盾していたり重なっていたりするものはたくさんあると思うので、そういった部分の調整を進める必要がある。その上で現実論や優先順位、予算などについて議論していく必要があると思うので、第3回検討委員会までには矛盾等を解決して、町民目線と外からの視点も忘れないよう全体として調和のとれた方向性やコンパクトヴィレッジ案というものが出来れば良いと思う。

個人的な意見も言っておきたい。過去に国土交通省と東京都庁で公園行政を務めた経験から、地方に造られている公園は非常につまらないモノが多い傾向で、本当に使えて楽しい公園が少ない印象。よって造るなら思いっきり楽しくて使いやすい公園を1ヶ所か2ヶ所きっちり造るということはコンパクトヴィレッジ構想の中にあっても良いのではないかなと思う。また、歩行者と自動車の関係については、できるだけ保護者の動線を分離して安全性や快適性の確保は非常に重要だと考えている。例えば橋の拡幅や自転車・歩行者専用の橋をかけることなどは安全性や使い易さを格段にあげることに繋がるし、そういった視点は本日も議論の中に出てきた駐車場の問題などを考える際には必要だし解決の糸口にも繋がると思う。

○日置委員長

今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

○事務局

資料7「日南町中心地域整備検討委員会スケジュール」について事務局から説明。次回の第3回検討委員会は10月から11月頃を予定しており、追って日程はご案内する。また、現在、日南町中心地域メタバス作成業務の発注を準備しており、いわゆるインターネット上の仮想空間を創り、その仮想空間に箱モノや町のイメージを配置して可視化し、町の未来を検討できるような準備を進めている。併せて第3回検討委員会では、コンセプトを含めた必要なモノの優先順位を整理し、ご提供できるように準備したいと考えている。

○日置委員長

皆さんから質問やご意見があれば伺う。

○委員

メタバースは、いつ頃できるのか。

○事務局

次回の第3回検討委員会に合わせ10月から11月頃にはイメージを共有していただけるレベルのものを作成したいと考えている。

○日置委員長

委員の皆さんからその他について何かあるか。

○委員

病院建設候補地について、現在の文化センター正面のメインの駐車場の場所に病院を持って行くのは難しいのか。緊急車両が走ることが想定されるが、JA 日南支所とパセオの間の細い道を通れば、パセオから出てくる車との事故が心配。子どもや買い物客もいる中で、事故の危険性が高まるのではないかと危惧するがどうか。

○事務局

当初、病院建設候補地を8つ選出する段階では、文化センターの正面のメインの駐車場である場所は候補地からは外してあるが、再検討や協議いただく余地はあると認識している。

○事務局

関連して、仮に候補地3に病院を建てる場合、駐車場の確保が大きな課題となる。先ほどの資料4で候補地3にかかる駐車場確保について考えられる選択肢ということで6つの案をお示しした。この中の案4「病院近接地を再開発し駐車場へ」については、即ちJA 鳥取西部様を含む周辺を駐車場にできないかということであり、その可能性についてお示ししている。勿論、民地であり相手方があることなので、相談をさせていただきながら次回の第3回検討委員会では経過を含めて報告させていただくことになろうかと思う。

○日置委員長

駐車場の確保の課題については、きちんと空間を再整備するということについての検討なので、余っているところに何かを作るという計画では決してあってはいけないと思う。他のところに移転しても構わないものだったら移転していただく、そういう議論を含めてまな板に載せるべきだと思うので、事務局にはその点もよろしく願いたい。以上で、本日の議題は終了し進行は事務局にお返しする。

○事務局

以上で、第2回日南町中心地域整備検討委員会を終了する。

令和 6 年 8 月 9 日

会議録確認委員

氏 名 松 田 正 

日南町中心地域整備検討委員会 名簿

	分 野	所 属 ・ 役 職		氏 名	第2回 (7/13)
1	有識者	鳥取大学	特任教授	日 置 佳 之	○
2	〃	明治大学	准教授	片 野 洋 平	○
3	〃	シティラボ東京 合同会社マチトワ	コミュニケーター共同代表	西 昭 太 朗	○(web)
4	地元自治会	生山自治会	会長	伊 藤 政 美	○
5	〃	霞自治会	会長	長 尾 春 彦	○
6	地域団体代表	日南町自治協議会	会長	松 田 正	○
7	町民代表			糸 田 川 啓	○
8	〃			山 脇 亜 紀	欠席
9	〃			中 村 建 治	○
10	商 工	日南町商工会	会長	福 田 一 哉	欠席
11	〃	日南町商工会青年部	部長	東 洋 祐	○
12	福 祉	日南福祉会	理事長	坪 倉 孔 喜	○
13	〃	日南町老人クラブ連合会	会長	大 塚 武 史	欠席
14	交 通	(株)共立ソリューションズ	地区担当マネージャー	八木橋 隆雄	○(web)
15	〃	日南交通(有)		西 谷 直 文	欠席
16	教育・子育て	日南小中学校PTA	会長	前 田 美 沙	○
17		こども園保護者会	会長	古 垣 内 大 輔	欠席
18	〃			井 上 慈 子	○
19	〃			中 田 望	○
20	金 融	(株)山陰合同銀行根雨支店生山出張所	所長	三 浦 秀 賢	○
21	〃	(株) 鳥取銀行生山支店	支店長	上 原 佑 介	○
22	行政	日南町	副町長	角 井 学	○

<オブザーバー>

区 分	所 属 ・ 役 職		氏 名	
鳥取県	輝く鳥取創造本部とっとり暮らし推進局人口減少社会対策課	課長補佐	大 谷 武 彦	○
〃	西部総合事務所日野振興センター日野振興局地域振興課中山間地域連携担当	中山間地域振興リーダー	鈴 木 陽 子	○

<事務局>

区 分	所 属 ・ 役 職		氏 名	第2回 (7/13)
日南町		教育長	青 戸 晶 彦	○
〃	総務課	課長	実 延 太 郎	○
〃	まち未来創造課	課長	島 山 圭 介	○
〃	〃	参事	川 上 将 典	○
〃	地域づくり推進課	課長	浅 田 雅 史	○
〃	〃	C I O補佐	藤 見 昌 延	○
〃	〃	室長	榎 尾 公 宏	○
〃	建設課	課長	渡 邊 輝 紀	○
〃	農林課	課長	坂 本 文 彦	○
〃	福祉保健課	課長	出 口 真 理	○
〃	教育委員会	次長	三 上 浩 樹	○
日南病院		事業管理者	福 家 寿 樹	○
〃		参事	木 下 順 久	○